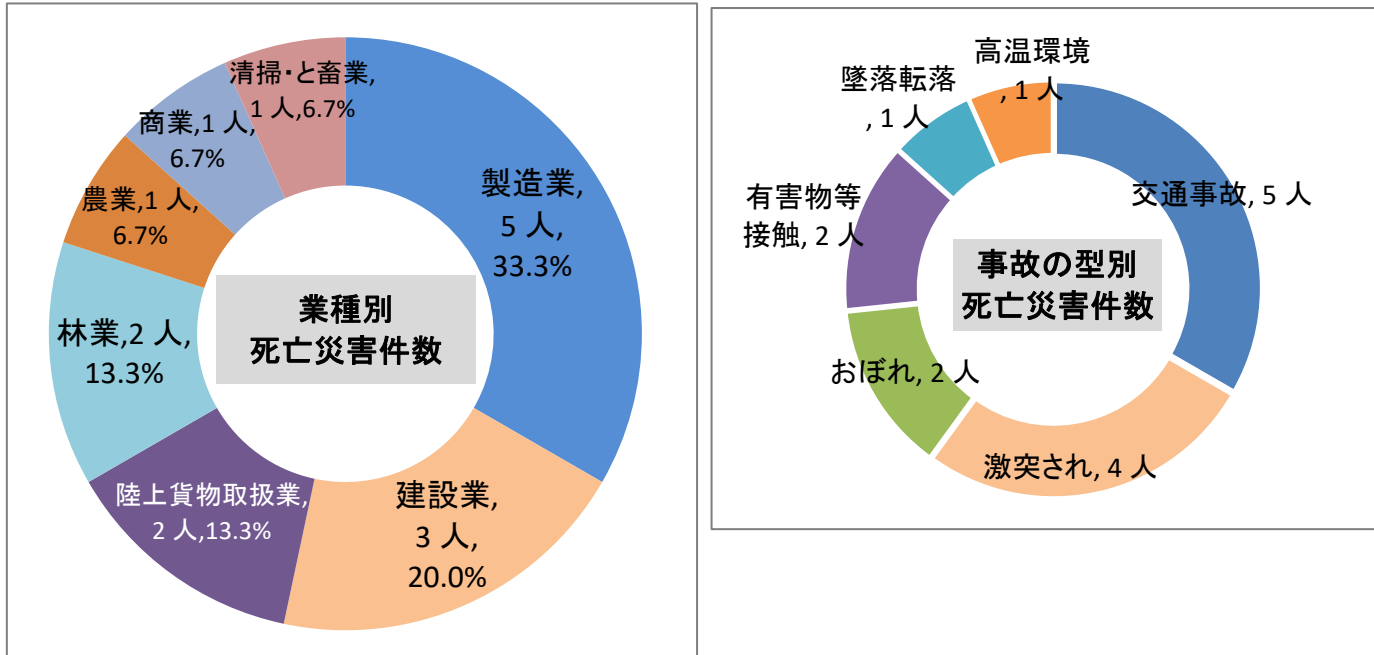


## 11.業種別・各監督署別災害発生状況

### 11-1.業種別・事故の型別死亡災害発生状況(令和2年)

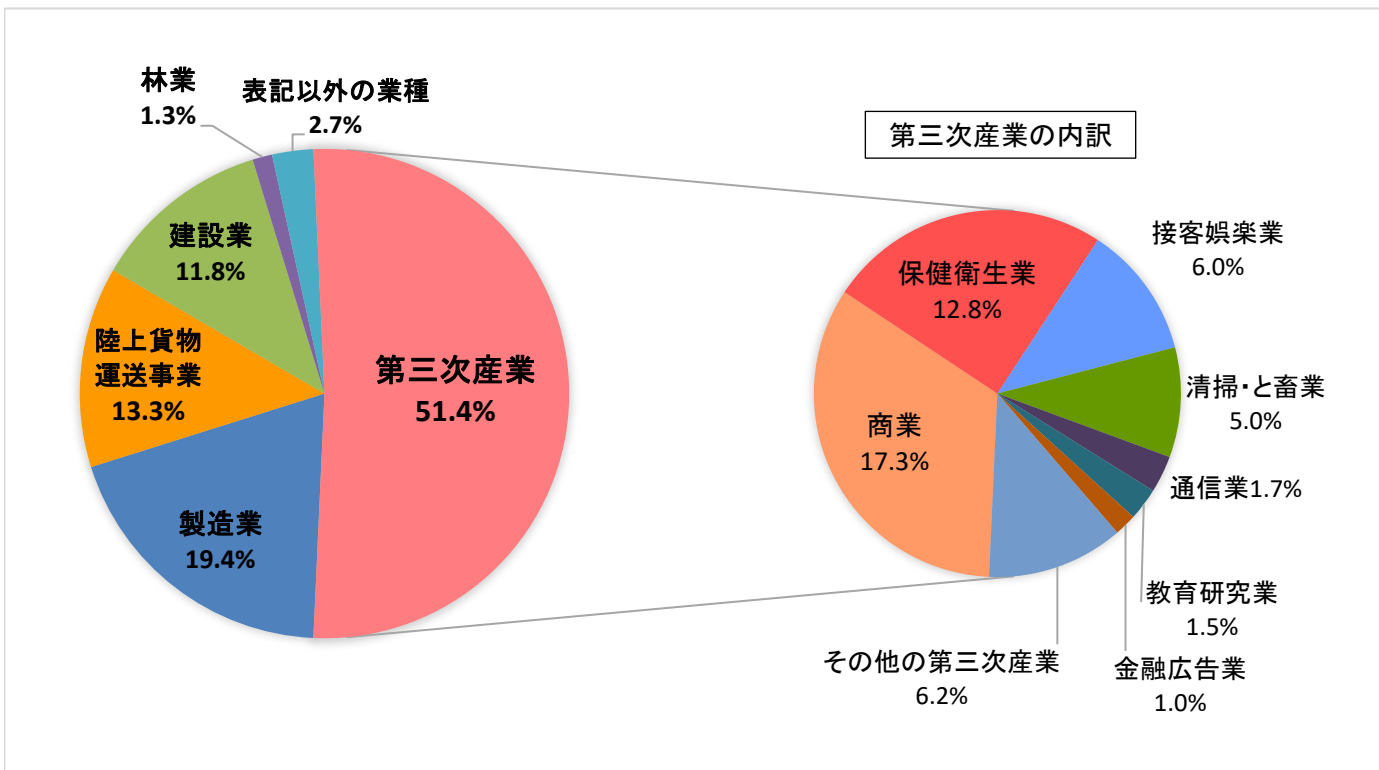
(全産業合計:15人)



1. 令和2年の死亡災害の業種別の割合は、製造業5人、建設業3人、陸上貨物取扱業と林業が2人の順となっている。
2. 事故型別では、「交通事故」が5人で最も多く、次いで激突され4人、おぼれ及び有害物等との接触がそれぞれ2人となっている。

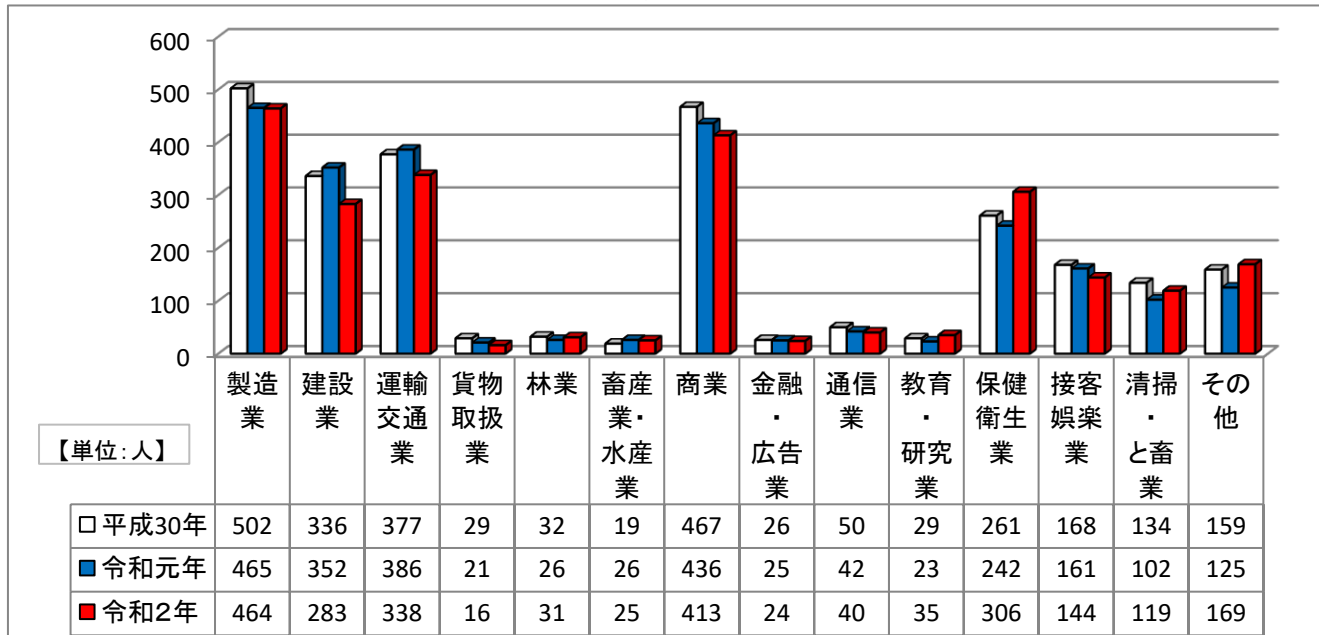
### 11-2.業種別死傷災害発生状況(令和2年)

(全産業合計:2,407人)

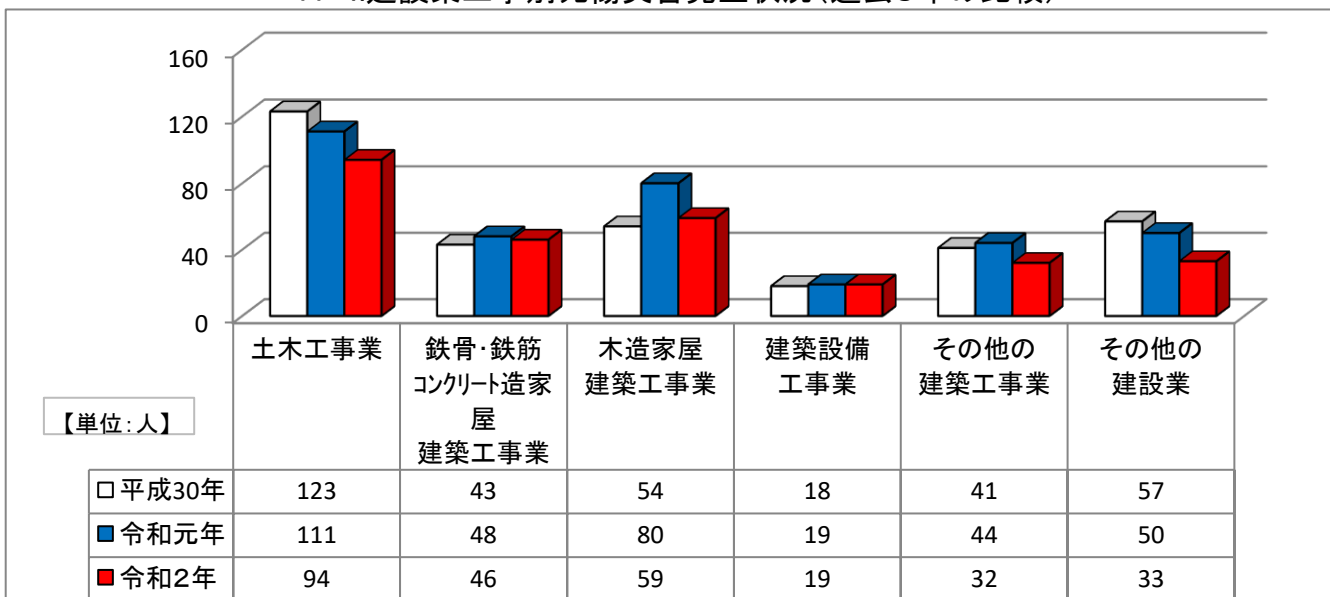


1. 令和2年の死傷災害の業種別の割合は、第三次産業51.4%、製造業19.4%、陸上貨物運送業13.3%、建設業11.8%の順となっている。
2. 最も多い第三次産業の内訳は、商業17.2%、保健衛生業12.8%、接客娯楽業6.0%の順となっている。

11-3.主要業種別死傷災害発生状況(過去3年の比較)

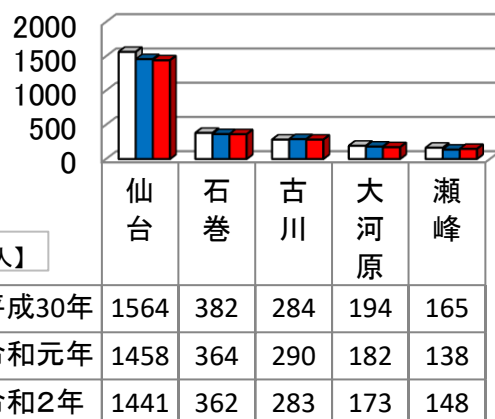


11-4.建設業工事別死傷災害発生状況(過去3年の比較)



11-5.監督署別労働災害発生状況(過去3年の比較)

(死傷件数)



(死亡件数)

